

◆ 令和5年7月に発生した豪雨の被災に伴う第44回災害ボランティア活動として、7月15日(土)・17日(月)福岡県久留米市善導寺町、広川町水原及び太田地区において災害復旧活動を実施しました。

今回は、令和5年7月10日福岡県・佐賀県・大分県にかけた記録的大雨による被災に伴い、久留米市社会福祉協議会および広川町社会福祉協議会から支援依頼を受け、筑後信用金庫内にて参加者を募ったものです。当金庫信和会では、通算第44回目の災害ボランティア活動となり、有志21名が参加しました。なお、任意の団体からも要請が入っている状況です。

活動内容は、(1)久留米市内では15日(土)最高気温32.8度の中、6名で善導寺町にて3軒の災害ゴミを搬出しました。午後から雨が降り中止となりました。(2)広川町では17日(月・祝)熱中症警戒アラート発令の中①5名水原地区にて災害ゴミを搬出しました。また②残り11名(うち1名職員の家族含む)は被災した家屋の床下での泥だしを行うとともに災害ゴミの搬出も行いました。

復旧作業に参加されたボランティアの皆様大変お疲れ様でした。また、社会福祉協議会のスタッフ皆様お疲れ様でした、また準備等ありがとうございました。

以上

(集合写真)

(7月15日活動)

職員 6名
(男性 4名)
(女性 2名)



(7月17日活動)

職員 15名
(男性 12名)
(女性 3名)



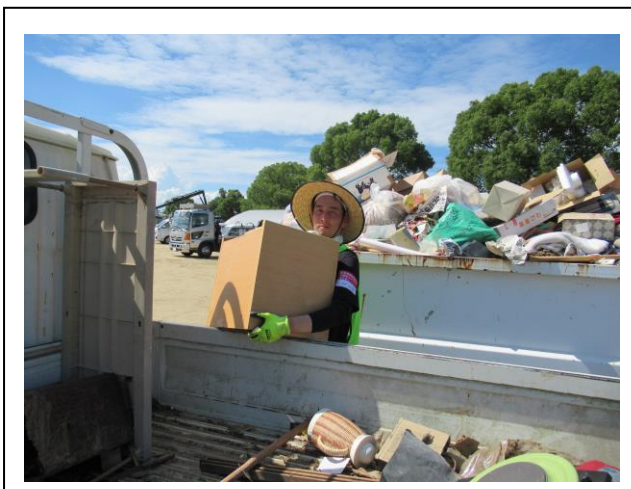
(活動状況)



(1)善導寺町集合場所(久留米ふれあい農業園)にて



(2)広川町水原地区にて



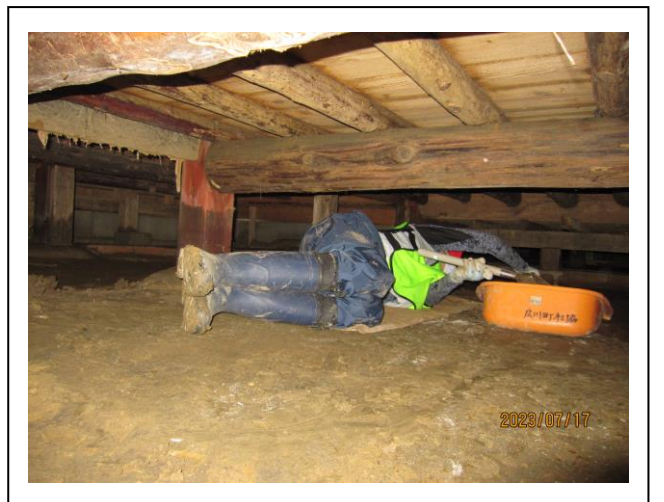
(3)広川町水原地区、災害ごみの搬出作業



(4)広川町太田地区被災家屋の床下泥だし



(5)広川町太田地区、被災家屋倉庫から災害ゴミを搬出



(6) (理事長) 床下泥だし